

平成 30 年 9 月 1 日(土)13:00 から市立横手病院 4 階 会議室を会場に平成 30 年度第 2 回放射線安全管理セミナーin YOKOTE が「安心して質の高いマンモグラフィーを実施するために《をテーマに開催されました。

はじめに、『エキスパートから学ぶ！MMG の接遇と撮影上のちょっとした工夫』と題して雄勝中央病院の高橋 麻冴子会員より発表がありました。被験者に丁寧で分かりやすいパンフレットも作成し、安心して撮影に臨んでもらえる体制をとられている様子が伺えました。

続いて『MMG における被ばくに対する質問にどう答えますか？』と題して市立角館総合病院の野呂 和香菜 会員より発表がありました。被ばく相談員の資格も取得されていることから被験者に寄り添った説明とその対応に関しては、相手の問いに耳を傾けることから始まることを話されていました。

続いて『MMG の被ばく管理』と題して平鹿総合病院の高橋 かつら会員より発表がありました。認定施設更新に向けての日々の継続的な精度管理の大変さが伺えました。

15 分程の休憩を挟んだ後、『県南5施設の MMG 装置における平均乳腺線量と画質の比較』と題して市立横手病院の高橋 愛美会員より発表がありました。

4 名の会員発表の後は、情報提供として『MMG 検診画像認定施設取得に必要なポイント～平均乳腺線量と画質評価～』題し、株式会社フィリップスジャパン CT & MS アプリケーションスペシャリスト DI アプリケーション担当の五十嵐 まみ子先生からお話を頂きました。デジタルマンモグラフィの日常精度管理方法に関して詳細かつ丁寧に解説していただきました。

最後に『全部まとめてディスカッションしよう！！』と題し、市立横手病院の法花堂学会員のコーディネートの下、総合的な討論を行いました。被験者の対応に関して、どのような対応が求められているのか、参加者から様々な意見が寄せられ、大変有意義なセミナーとなりました。

記 小林 林

太郎

